



## キャリア意識アンケート

自分の考えや言動にどれくらい当てはまるかを考えて、それぞれのアンケート項目に回答してください。

17 教室や校内での仕事や役割を果たす際に、他の仲間と分担して取り組むことができる

I 卒業後の進路を決めている

1 決まっていない 2 進学か就職かを決めている 3 どのような分野で学ぶ・働くかをだいたい決めている

4 学ぶ・学問・働く職を明確に決めている

II 次の項目以降は、5段階のなかからいちばん当てはまるものを選んで答えてください。

1 まったくあてはまらない 2 どちらかといえばあてはまらない 3 どちらともいえない

4 どちらかと言えば当てはまる 5 あてはまる

1 いろいろな職業やその内容について知っている

2 いろいろな職業について、それぞれどのような進路を取れば、その職業につけるか知っている

3 いろいろな職業について、それぞれにどのような能力や知識が必要か知っている

4 いろいろな職業が、それぞれ社会でどのように役立っているか知っている

5 将来、自分の役に立つ資格について知っている

6 職業を選ぶとき、重視したいことが分かっている

7 さまざまな情報源を用いて、将来の職業について調べ、具体的に計画を立てることができる

8 自分のよさや強みを生かせる場面を見出し、行動に生かすことができる

9 学校や地域社会における役割を知り、生涯にわたる職業選びや進学先選びの計画をすることができる

10 家庭・学校・仕事と地域社会の役割や責任に優先順位をつけてバランスよく務めることができる

11 自分自身の将来の職業やそれに到達するための進路に関する情報を集めて考えることができる

12 文化や考えの異なる人とも関わり、自分にできる活動を見つけて参加できる

13 安全を保つために有効な仕組みや人材に関する情報を取捨選択したり、更新したりできる

14 よい人間関係を保てるよう、対人関係能力を発揮して人と関わるることができる

15 日常の学校生活で、公正で誠実に物事に対処することができる

16 国際社会のなかでも、自分の周囲においても文化的な違いを受け入れ、尊重することができる

17 教室や校内での仕事や役割を果たす際に、他の仲間と分担して取り組むことができる

18 周囲と対立しても、よい人間関係を保ち、問題を解決することができる

19 リスク・危険を伴う行動をとるべきかどうか、自分で意思決定することができる

20 自分の興味関心や成績などの情報を活用して、卒業後の進路を選択することができる

21 大きな出来事に対処するのに必要な能力について、自分のよいところや課題を理解することができる

I：報告者オリジナル

II：1～6 キャリアデザインカ尺度(改訂版)「職業理解カ」(三川, 2017)

7～21 ミズーリ州ガイダンス・カウンセリングプログラム(西山, 2014)に基づく、「自己理解・自己管理能力」・「キャリアプランニング能力」に関する尺度